

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教 科： 地理歴史 科 目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ B 組

教科担当者：（A組～F組：代田有紀）

使用教科書：（ 帝国書院『高校生の地理総合』、 帝国書院『標準高等地図』 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 地図や地理情報システムと現代世界 【知識および技能】地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につける。 【思考力・判断力・表現力】各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだす。	○指導事項 ・地球儀と地図 ・地図と地理情報システム ○教材 ・教科書（地図帳含む） ・プリント、資料 ・地形図 ・世界地図・日本地図 ○一人1台端末の活用 等 ・Teamsでのデータ共有、課題配信 ・地理院地図 ・jSTAT MAP ・デジタルノート（教科書準拠）	【知識・技能】地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	5
	B 結びつきを深める現代世界 【知識および技能】世界を構成する国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解する。 国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身につける。 【思考力・判断力・表現力】国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだす。 定期考査	○指導事項 ・現代世界の国家と領域 ・地図から見る国内や国家間の結びつき ○教材 ・教科書（地図帳含む） ・プリント、資料 ・地形図 ・世界地図・日本地図 ○一人1台端末の活用 等 ・Teamsでのデータ共有、課題配信 ・地理院地図 ・jSTAT MAP ・デジタルノート（教科書準拠）	【知識・技能】世界を構成する国家の領域の定め方、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。 国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	6
				○	○		1
	C 生活文化の多様性と国際理解 【知識および理解】世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考力、判断力、表現力】地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	○指導事項 ・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・事例：乾燥地域で生まれてきた生活文化 ○教材 ・教科書（地図帳含む） ・プリント、資料 ・地形図 ・世界地図・日本地図 ○一人1台端末の活用 等 ・Teamsでのデータ共有、課題配信 ・地理院地図 ・jSTAT MAP ・デジタルノート（教科書準拠）	【知識・理解】世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	11

	定期考査				○	○		1
2 学 期	D生活文化の多様性と国際理解（続き） 【知識および理解】世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考力、判断力、表現力】地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。定期考査	○指導事項 ・世界の産業と人々の生活 ・世界の宗教・民族・言語と人々の生活 ・多様な生活文化と地理的課題 ・事例：経済発展による生活文化の変化 ○教材 ・教科書（地図帳含む） ・プリント、資料 ・地形図 ・世界地図・日本地図 ○一人1台端末の活用 等 ・Teamsでのデータ共有、課題配信 ・地理院地図 ・JSTAT MAP ・デジタルノート（教科書準拠）	【知識・理解】世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	13	
	定期考査				○	○		1
		E地球的課題と国際協力 【知識および理解】地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解する。地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考力、判断力、表現力】地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだす。定期考査	○指導事項 ・人口問題 ・食料問題 ・都市・居住問題 ・感染症・衛生問題 ・資源・エネルギー問題 ・地球環境問題 ○教材 ・教科書（地図帳含む） ・プリント、資料 ・地形図 ・世界地図・日本地図 ○一人1台端末の活用 等 ・Teamsでのデータ共有、課題配信 ・地理院地図 ・JSTAT MAP ・デジタルノート（教科書準拠）	【知識・理解】地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。				13
	定期考査				○	○		1
3 学 期	F自然環境と防災 【知識および理解】自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解する。自然災害が生じる場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考力、判断力、表現力】どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性】自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだす。定期考査	○指導事項 ・日本の自然環境 ・地震・津波や火山活動による災害と防災 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え ○教材 ・教科書（地図帳含む） ・プリント、資料 ・地形図 ・世界地図・日本地図 ○一人1台端末の活用 等 ・Teamsでのデータ共有、課題配信 ・地理院地図 ・JSTAT MAP ・デジタルノート（教科書準拠）	【知識・技能】自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。 自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	11	
	G生活圏の調査と地域の展望 【知識および理解】生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解する。生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力】事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。定期考査	○指導事項 ・地理的調査の方法 ※ ・本単元については、選択科目「東京の地理」で詳しく取り扱う。 ・探究・調査は宿題とする。 ○教材 ・教科書（地図帳含む） ・プリント、資料 ・地形図 ・世界地図・日本地図 ○一人1台端末の活用 等 ・Teamsでのデータ共有、課題配信 ・地理院地図	【知識・理解】生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。 【思考・判断・表現】事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。		○	○	6	
	定期考査				○	○		1
								合計
								70